

第209号

<編集・発行>



八多ふれあいの
まちづくり協議会
TEL 078-982-0514

ふれまち八多

北建設事務所現地視察



今年も猛暑でしたが、ようやく秋の気配が感じられる9月24日(火)・25日(水)両日午後北建設事務所の現地視察をお願いしました。24日(水)は前田副所長・谷口課長・武田係長の3人が来られ、八多町からは自治協議会の岡田会長・森副会長、出張所の矢野所長・三浦係長が同行。13時に八多出張所を出発、中地区・下小名田地区・上小名田地区・吉尾地区・附物地区の5地区を巡回。各地区長さんから今年度提出した要望書に従い現地できわしく説明をしました。25日(水)は森副会長が北芝副会長に交代した以外は同じメンバーで13時30分から深谷地区・屏風地区・西畑地区・柳谷地区の4地区を現地視察していただきました。こうした現地視察をやっていた地区は少なくなっているようですが、実際に現地を見ていただき市の担当者に地元の地区長さんからの説明を聞いてもらうのは良い機会だと思えます。関係者のみなさんお疲れさまでした。

なお、要望者に対する文書回答は秋にはいただける予定です。後日、「ふれまち八多」でお知らせいたします。緊急要望があれば、いつでも八多出張所に連絡ください。

住民自治組織代表者と区長との懇談会

八多町自治協議会からの要望3点

令和6年度の標記の会が10月29日(火)に予定されています。八多町自治協議会からは懸案となっている次の3点を要望します。なお、回答は後日お知らせします。

I 屏風辻・瀧・宮坂線道路拡幅について

1. 現状

屏風辻・瀧・宮坂線は、八多町と大沢町を効率よく結ぶ道路で、利便性の高い道路です。しかしながら、八多町西側の山陽道北側から大沢町大沢「北六甲カントリー倶楽部」に至る区間については、道幅が狭く見通しも悪いため、大変危険です。このため、早期の拡張整備、道路舗装について従来より要望してまいりましたが、当該区間の地権者により令和元年6月に突然閉鎖され、車両の通行が全く出来なくなってからすでに5年以上にもなります。

地権者との交渉が難しいともお伺いしますが、通行の確保についての見込みはどうでしょうか？また、道路拡張整備につきましても一層ご努力いただきたいと思えます。

2. 要望

①通行止めの解除について

道路として通常の利用に供していた道について、地権者が通行を止めるという異常状態が5年以上続いており、通勤などで利用していた多くの市民が大幅な迂回を余儀なくされております。拡張・整備計画と関連するとは思われますが、当面通行できるようにお願いしたい。

②拡幅・整備について

長年の懸案であります。八多、大沢両町の地元自治会、八多出張所、大沢出張所、北建設事務所と協議を進め、連携のもと地権者の了解を得て、早期の道路拡幅・整備を早期に実現していただきたい。

II 八多・淡河バスの乗車利用促進施策について

1. 現状

神姫バスの突然の撤退宣言から、八多町、淡河町で

要望、協議の結果、神戸市のご協力を得て、代替交通として「八多淡河バス」という形で何とか今の便数を確保することができました。バス便が存続・充実していることが、里山定住や地域魅力の基盤です。この路線を存続させるため、できるだけ地元負担が発生しないよう不測の事態に備えていただき、ご支援・ご協力をお願いしたいと存じます。

2. 要望

- ①八多淡河バスの拡張実施にあたって、引き続き八多町民・淡河町民および藤原台地区・北神星和台地区の住民が利用出来るようなルートや時刻表の調査・検討および利用拡大を実施するための施策・方法について、ご検討をお願いしたい。
- ②八多・淡河町民の地元負担が無くなるよう、種々の施策を講じていただきたい。

III 八多義務教育学校の教育環境の充実について

1. 現状

八多小学校校区からの通学利便性の理由による鹿の子台小学校等への指定外通学によって八多小学校の児童数が激減しており、この危機的状況を踏まえ、10年ほど前から指定外通学の見直しをお願いしてまいりました。市教委でご検討の結果、令和5年度から八多小・中学校を統合して9年間一貫の義務教育学校を自治協議会をはじめ地域団体もしっかりとサポートしていきたいと考え、一定の成果をあげております。

しかしながら直近4年間の入学者数は8名、9名、7名、6名であり、今後の児童生徒数の見込みを推計しますと、中地区など八多校区内で他校への通学が認められている地域も含めても子どもの減少傾向が著しく、義務教育学校として適切な教育環境を確保することが困難な状況になってきております。

2. 要望

- ①里山地区最初の義務教育学校として教育内容を充実させてほしい。
- ②中地区など八多小・中学校以外への指定外通学が可能な世帯にむけて八多義務教育学校を強力に推奨していただきたい。
- ③近隣校区からの八多小・中学校への指定外通学を早急に認められたい。

赤い羽根共同募金にご協力ください！

今年も10月1日から赤い羽根でおなじみの「共同募金運動」が始まっています。この運動は昭和22年に始まり国民的な募金活動として今日まで継続してきて、民間の社会福祉活動支援に大きな役割を果たしてきました。八多町でも強化月間である10月に民生委員さんを中心に寄付のお願いをしておりますのでご協力よろしくお願ひ申し上げます。なお、町民文化祭には八多児童館の子供たちが募金箱をもって呼び掛けるほか、ふれあいセンター・八多出張所には募金箱を設置しています。

附物地区で
熊(?)の
目撃情報あり



9月中旬頃、附物地区で熊らしき動物の目撃情報がありました。近くで足跡も発見されていたようです。ご注意ください。



「神戸地域おこし隊」 木村 崇志



■自己紹介

広島県廿日市市出身。33歳。1歳と3歳の子供を持つ二児の父。

父親の海外赴任で4歳からベルギーとドイツに合計4年居住した。滞在中はシュタイナースクールで現地の教育を受ける。中学校は修道学園へ通学。1年間浪人し京都大学農学部食品生物科学科へ入学。幼少より習っていたチェロを活かすために入部したオーケストラサークルに傾倒し、勉強はそっこのけで休学期間含め8年間演奏活動に勤しんだ。その後、大学を中退して奈良県の株式会社呉竹に入社。会社では文房具開発のほか特許出願など知財業務を担当。

2023年2人目の育児休暇中、今後の人生設計に思い

を巡らせ、自然豊かな環境で農業をしたいという思いを抱く。就農場所選びで色々見た中で、神戸市の制度等を知り魅力を感じる。今年の4月から、大沢町の神付有機農業教室やmagatamafieldのイベントに参加。その後移住サイトに登録し地域おこし隊の募集を知る。地域の方と交流を深めつつ、将来やりたい事に向けて活動できる願ってもない機会であると考え地域おこし隊に応募し着任に至る。

■今後の活動

特技のチェロ演奏（高槻市を拠点とする市民楽団の紫苑交響楽団に現在も所属しています）も活かしつつ主に食と農と芸術の面で盛り上げていきたいです。八多町にルーツはない余所者ではありますが、皆様と一緒に魅力ある町づくりのお手伝いをさせていただけたらと思っていますので、何卒よろしくお願いします。

※「神戸地域おこし隊」とは？

北区・西区の里山・農村地域の活性化を目的に、2019年度から神戸市が導入した独自制度。北区ではすでに淡河町や道場町・山田町で活動されているが八多町では木村さんが初めて。10月1日(火)に着任され、八多出張所で月から木まで週4日の勤務。



「八多淡河バス」が変わりました！

神姫バスの路線バス「三木～淡河線」の休止を受けて10月1日(火)から「八多淡河バス」の運行内容が拡充されました。

①ダイヤが変わりました。八多町・淡河町の利用者の意見も取り入れ乗り継ぎや児童・生徒の登下校にも配慮したダイヤになりました。今まで神戸電鉄の最寄り駅まで家の人の送迎が必要だったのが今回の改正でバス通勤できるようになった例もあります。

平日の運行回数は三木方面行き14便、岡場・道場南口行き14便と従来とほぼ同数です。配布された時刻表をご覧ください。

②吉尾インターでの乗り継ぎが便利になりました。今までは「八多淡河バス」の岡場行きしか吉尾インターに停車していませんでしたが、今回は全便が停車することになりました。吉尾インターから三宮までの所要時間はわずか30分、運行回数は通勤時は15分に1本あり、運賃は片道650円です。敬老パスを使うと小児運賃(半額)になります。ぜひ、ご利用ください。なお、神戸電鉄利用の岡場～三宮(谷上乗り換え)は片道690円です。

③バス利用者数が重要です。運転手3人、バス3台での運行をスタートしましたので、従来と同様の便数を確保できていますが利用者が少なければ便数は大幅に減少します。「みんなで乗って支える」ことが大切です。ご協力よろしくをお願いします。

八多淡河バス 利用者数

	令和5年度												令和6年度																							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月																		
	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝														
利用者数	1,061	57	1,015	69	1,137	43	1,086	53	944	80	1,181	62	1,149	92	1,049	132	1,032	107	940	70	933	100	1,042	108	981	98	945	114	893	83	951	94	716	118	828	91
運行日数	20	10	20	11	22	8	20	11	20	11	20	10	21	10	20	10	20	11	19	9	19	10	20	11	21	9	21	10	20	10	22	9	18	13	19	11
月別平均利用者数	53.1	5.7	50.8	6.3	51.7	5.4	54.3	4.8	47.2	7.2	58.7	6.2	54.7	9.2	52.5	13.2	51.6	9.7	49.4	7.8	49.1	10.0	52.1	9.8	46.7	10.9	45.0	11.4	44.7	8.3	43.2	10.4	39.8	9.0	43.6	8.3
平均	平日・土日祝 合計 6,788人 (1,131人/月) (36.9人/日)		平日・土日祝 合計 6,754人 (1,126人/月) (37.5人/日)		平日・土日祝 合計 5,912人 (985.3人/月) (32.3人/日)																															

10年ぶりに茅葺き屋根の葺き替えが始まりました

ふれあいセンターのシンボルとなっている茅葺き民家の屋根の葺き替え工事が始まりました。請負業者は淡河町の株式会社「くさかんむり」です。10年ぶりの工事で、工期は10月8日(火)から12月26日(木)です。その間、現場見学会や茅葺き体験などのイベントを実施予定ですが、詳細はホームページ「ふれまち八多」でお知らせします。

なお、お披露目会は令和7年3月22日(土)を予定しています。



八多ふれあい市民健診報告

8月21日(水)にふれあいセンターで実施した令和6年度の「八多ふれあい市民健診」の受診者は45人で昨年(48人)とほぼ同数でした。この行事も今年で10年目を迎え、八多町民にとって健康チェックの場となっております。兵庫県予防医学協会・北神区役所健康福祉課・八多淡河あんしんすこやかセンターなど多くの方々のご協力での行事が実施できています。

今年は送迎で八多の里にもお世話になりました。すべてのお世話になった関係者の方々にお礼申し上げます。今後ともこの行事が継続できますようよろしくお願い申し上げます。

ありがとうございます

*八多町善意銀行にて芳志をいただいた方
附物 長尾 美香様(供養として)

◆お誕生なめびっぴ(敬称略)

地区 出生児 保護者
下小名田 森 大輔 勝心な子

八多学園「ふるさと紹介コンクール」

今年も八多学園では夏休みに1~7年生は「風景絵画」「ちぎり絵」などに、7・8年生は「デジタル作品」に取り組み素晴らしい作品がたくさん寄せられました。9月13日(金)に審査会を開き、優秀作品は10月1日(火)の全校朝礼で「生活安全標語」の優秀作品とともに表彰しました。



八多町自治協議会 会長賞
8年 岩田 虎汰郎



八多婦人会 会長賞
9年 竹垣 和真



学校長賞
6年 吉田 雄翔



八多町自治協議会 会長賞
7年 廣畑 結夏



八多婦人会 会長賞
8年 向井 友希



学校長賞
2年 谷下 ころこ

八多学園「生活安全等標語」

八多町自治協議会長賞

1年 小坂井美咲…おはようと あかるいこえが きもちいな
9年 角園 詠葉…多様性 かがやく個性 大切に

八多婦人会長賞

4年 梅鉢 惟人…あいさつは 元気にしよう 心から
9年 武田 佳晃…いじりって 心の残る いじめだよ

八多青少年育成協議会長賞

5年 中野 紬希…あいさつは 笑顔とどける 愛言葉
9年 高岡 凌介…ほんとかな 見ている君の その情報

PTA会長賞

2年 平谷 陽…みんながたのしく がんばる 八多学園
6年 井上 芽香…あいさつで 人とのつながり 大切に

学校長賞

3年 松永笑美子…自分のいのち 相手のいのちも まもろうよ
8年 向井 友希…暑い時 水分エアコン 日陰へゴー

神戸市農業委員の改選について

この度、農業委員の任期に伴う改選が行われ、八多町からは左記の3名が再任されました。

農業委員
西浦 秀男さん(附物)
農地利用最適化推進委員
中澤惣一郎さん(屏風)
森 丈実さん(下小名田)

任期は令和6年9月10日から3年間です。よろしくお願ひします。

令和6年度北区里づくり協議会

8月26日(月)13時から北神区役所で北区里づくり協議会が開催されました。椿野経済観光局長のあいさつの中に八多町自治協議会の岡田孝久会長が会長(再選)に、副会長には大沢町自治連合会の大家重明会長が選出されました。

地区	氏名	自治会名
淡河	増田 泰樹	淡河町自治協議会
道場	中田 敬子	道場町連合自治会
有野	小前 正英	有野町自治連合会
山田	岸本 仁文	山田校下自治振興会
八多	岡田 孝久	八多町自治協議会
大沢	大家 重明	大沢町自治連合会
長尾	大江 重治	長尾町自治会

(敬称略)

編集後記

今年の夏は本当に猛暑でしたが、10月に入りようやく秋めいてきました。さて、10年ぶりにふれあいセンターの茅葺き屋根の工事が始まりました。めったにない機会ですので、工事期間中にいろいろないイベントを企画中で、ホームページ「ふれまち八多」でお知らせします。よろしくお願ひします。

その後、報告事項として農政計画課佐藤課長より人と自然との共生ゾーン条例の概要説明と神戸・里山暮らしについて(規制緩和・支援策の説明・これまでの成果)の話、北農業振興センターの川崎所長より協議会へのお願ひ(協議会への承諾、計画への位置づけ)がありました。